

昼のお月さま

小川未明

青空文庫

「万歳！」と、いう声こえが、どこか遠くとほの方から、きこえてきました。

「兄ちゃん、停車場ていしやばだね、また、兵隊へいたいさんが出征しゅつせいするんだよ。」と、良二りょうじが、いいました。

「いつてみようか、良ちゃん。」

兄あにの太郎たろうは目めをかがやかして、青々あおあおとした、秋あきの空そらを見みやりました。

「ばんざい、ばんざあい。」と、いう声こえが、また、きこえました。

「兄ちゃん、いこう。」

二人ふたりは、往來おうらいを駅えきの方ほうに向むかつて、駈かけ出したのです。電線でんせんの上うえに、白しろい月つきが、ぽかりと浮うかんでいました。これを見みつけた、良二りょうじが、

「なあんだ、いま時分じぶん、お月つきさまがでているよ。」と、走りはしりながら、笑わらいました。

「ああ、苦くるしい。良ちゃん、ちつと休やすもうよ。」と、太郎たろうが、いいました。

「兄ちゃん、僕ぼくより、弱よわ虫むしだなあ。」

「だって、僕ぼく、こんなげたをはいているんだもの。」

太郎たろうは、げたで、良二りょうじは、運動うんどうぐつをはいていました。やっと停車場ていしやばへ着つくと、

もう出征の兵士は立つてしまつた後とみえて、あたりは、しんとしていました。たすきをかけた、国防婦人の人たちの姿も見えませんでした。事変がはじまつてから、毎日のように、この駅から出征兵士が立つたので、駅の入り口には、白い布へ、「祝途」と、大きな字で書いた額がかかつていました。

「良ちゃん、もう、立つてしまつたんだね。」

「せつかくきたんだから、汽車を見ていこうよ。」

二人は、線路のそばのさくにもたれて、シグナルや、石炭の山や、トロツコのある、構内の景色をながめていました。

「天に代わりて不義を討つ、忠勇無双の我が兵は……。」と、日の丸の旗を持った、子供がうたつていました。きつと、さつき立つた兵士を見送つた子供たちでありましょう。

ボーウと、高く汽笛の音がしました。

「貨物だ。長い貨物だなあ。」

良二は、伸びあがつて、ながめていました。いくつかの箱に、日の丸の旗が立っています。

「あつ、馬が出征するんだ。」

どの箱の中にも、馬が入って、兵隊さんがついていました。

「万歳—」と、良二が、叫びました。

汽車は、駅には停車せず、そのまま過ぎてしまいました。

秋風が吹いています。かなたの森が、黄色くなってきました。白い雲が、空を飛んで

ゆきます。

「お父さんは、どうしていらつしやるだろうか。」

兄弟は、戦争にいつている、父親のことを思い出しました。

「良ちゃん、お宮へいつてみない。銀杏の実が落ちているかもしれないぜ。」

「神さまに、お父さんのことを拜んでこよう。」

兄弟は、きたときとちがった道を歩いていくと、坂のところでおじいさんが、重い

荷物をつけた車を引きあぐんでいました。

「てつだつてやろうか。」と、太郎が、先に車のうしろへ駆けつけると良二も、つづい

て、車につかまりました。そして、二人は、うん、うん、うなって押し上げてやりました。

坂を上りきると、おじいさんは、額の汗をふいて、喜びました。

「ありがとうございます。」と、いつて、幾たびもはげた頭を下げました。二人は、た

だ笑^{わら}つて、それに答^{こた}えたのでした。それから、話^{はな}しながら、あちらの森^{もり}の方^{ほう}へ、歩^{ある}いていきました。

「お兄^{にい}ちゃん、まだお月^{つき}さまが^で出ているよ。」

「こんな昼^{ひる}間^まなんか^で出^でて、おかしいな。」

「お父^{とう}さまも、この月^{つき}を^つごらんかしらん。」

「支^し那^なの塹^{ざん}壕^{ごう}の中^{なか}で、お友^{とも}だちと^み見^みていらつしやるかもしれないよ。」

兄^{きょうだい}弟^{だい}は、こういつて顔^{かお}を^み合^あわせて笑^{わら}いました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 12」講談社

1977（昭和52）年10月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第5刷発行

底本の親本：「日本の子供」文昭社

1938（昭和13）年12月

初出：「せうがく三年生」

1938（昭和13）年11月

※表題は底本では、「昼《ひる》のお月《つき》さま」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2017年6月25日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られ

ました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

昼のお月さま

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>